

アジア・イノベーション創造国家戦略特区

提案主体：福岡県、北九州市

我が国の経済を再生させるためには、大胆な規制改革等を実行し、「世界で一番ビジネスのしやすい環境」をつくることにより、「世界に打って出る＝イノベーションによる国際競争力の向上」、「世界を取り込む＝資本・人材の呼び込み」等の実現を図る必要がある。

とりわけ、今後世界で大きな需要が見込まれ、我が国が世界をリードする分野でイノベーションをさらに加速させるとともに、エネルギー等の制約の克服など立地環境を強化することにより、国内外の投資を呼び込むことが重要である。さらに、これら「メイド・イン・ジャパン」の技術・製品・システムをアジアから世界に展開することで、世界の市場を獲得することが強く求められている。

本地域は、成長著しいアジアに開かれた日本海側の最重要拠点であり、アジアのゲートウェイとしてさまざまな交流や連携・協力の実績を有するとともに、それらを支える空港・港湾・高速道路などのインフラが整うなど、発展の潜在力が極めて高い地域である。

これらの強みに加え、地震や津波等の災害が少ない本地域において、アジアに向けたイノベーションの創造を国家戦略として進めることは、我が国の国土強靱化の観点からも重要である。

このため、日本再興戦略の突破口として、次の3プロジェクトを提案する。

なお、これらのプロジェクトについては、九州経済連合会、福岡経済同友会、福岡商工会議所、北九州商工会議所の賛同を得て提案するものである。

- 1 F C Vをはじめとする水素エネルギー関連産業を我が国の成長産業の柱に育てる
水素エネルギー社会実現加速プロジェクト
- 2 低炭素・安定・安価なエネルギー供給等により産業基盤を構築する
エネルギー等産業基盤創造プロジェクト
- 3 我が国の優れた技術・製品・システムのアジア展開に戦略的に取り組む
アジア展開推進プロジェクト

アジア・イノベーション創造国家戦略特区

提案主体：福岡県、北九州市

国家戦略特区

- 世界に打って出る = イノベーションによる国際競争力の向上
 - 世界を取り込む = 資本・人材の呼び込み
- ⇒ **日本を「世界で一番ビジネスのしやすい環境」とする**

我が国が抱える課題（日本再興戦略）

- 「技術で勝って、ビジネスで負ける」（一部では「技術でも負ける」状況）
- 資源・エネルギー問題などに真っ先に取り組む「課題先進国」
- 新興国を中心に急速に拡大する成長市場の獲得に向けて、世界各国と激しい「競争」

大胆な
規制改革

爆発的な
民間投資を
喚起！

地域の強み

福岡県域の強み

- 成長著しいアジアに開かれた**日本海側の最重要拠点**
- 水素やエネルギーなど**世界最先端の研究・実証フィールド**

- 空港・港湾・高速道路など**充実したインフラ**



- **アジアのゲートウェイとしてさまざまな交流や連携・協力の実績**

課題解決のためのプロジェクト

I 水素エネルギー社会実現加速プロジェクト

II エネルギー等産業基盤創造プロジェクト

III アジア展開推進プロジェクト

日本再興戦略へ貢献

(日本産業再興プラン)
立地競争力の更なる強化

(戦略市場創造プラン)
クリーン・経済的なエネルギー需給の実現

(国際展開戦略)
海外市場獲得のための戦略的取組

アジア・イノベーション創造国家戦略特区

提案主体：福岡県、北九州市

- **コンセプト 1** 「世界をリードする分野でイノベーションを加速」
- **コンセプト 2** 「エネルギー等の制約を克服し、国内外の投資を呼び込む」
- **コンセプト 3** 「アジアから世界に展開し、世界の市場を獲得」

I 水素エネルギー社会実現加速プロジェクト

絶え間なくイノベーションが創出される環境を整備し、水素エネルギー関連産業を我が国の成長産業の柱に育てる

- 世界最先端イノベーション創出拠点の構築
 - 水素製造、輸送・貯蔵のイノベーション
 - 水素利用のイノベーション
- FCV世界最速普及国家の実現
 - 水素ステーションの早期普及
 - FCVの初期需要創出



水素ステーション



国産FCV

【主な規制改革等提案】

- ・ 工業専用地域における水素ステーションの営業許可
- ・ 大学研究者の改正労働契約法の適用除外

(下支え)

II エネルギー等産業基盤創造プロジェクト

低炭素・安定・安価なエネルギー供給等により産業基盤を構築する

- 低炭素・安定・安価な電力供給の実現
 - 工場版エネルギーマネジメント・ネガワット
 - 多様な電源（風力・高効率火力等）



地域節電所 (CEMS)



風力発電試験場(イメージ)

- 日本初・海外発の技術・製品を試すことができる実証フィールドの提供
 - 日本初の小型風力発電試験場
- 遊休地（施設）を活用した立地・起業の促進

【主な規制改革等提案】

- ・ 環境アセスメントにおけるCO₂取扱いの特例
- ・ 企業遊休地の活用に係る土壌汚染調査等の免除

(海外展開)

III アジア展開推進プロジェクト

我が国の優れた技術・製品・システムのアジア展開に戦略的に取り組む

- 新たなアジア展開モデルの提示
 - アジア低炭素化センターを核としたグリーンシティ（インフラシステム）輸出
 - ものづくり産業の海外展開支援
- アジア展開拠点機能の強化
 - 世界の需要を取り込むショールーム
 - アジアの環境人材育成



福岡水素タウン・FCV



インドネシアでの環境国際協力

【主な規制改革等提案】

- ・ インフラシステム輸出について相手国と交渉する支援組織の創設
- ・ 技能検定（基礎2級）実施言語の拡大

日本経済再生に向けた効果（KPI）

- 2015年からの燃料電池自動車の市場投入
 - ・ FCVの世界最速普及を実現するとともに、FCVと水素ステーションを一体的なシステムとして世界市場に展開

- 設備投資水準の回復
 - ・ エネルギーコスト削減が設備投資を誘発
- インフラシステムの受注目標
 - ・ インフラシステム輸出額：約5,000億円（2020年度） など